

パブリックコメント募集結果

①意見募集項目

「公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針（案）」について

②意見の募集期間

平成25年4月1日（月）～22日（月）

③意見募集の方法

郵便，ファックス，持参および盛岡公式ホームページの応募フォーム

④意見の件数

基本方針（案）への意見2件（2名）

この他に匿名で基本方針（案）への意見以外のものが1件（1名）

⑤意見反映区分

- ・「A」：計画等に盛り込むもの
- ・「B」：計画等に盛り込み済みもの
- ・「C」：計画等に盛り込まないもの
- ・「D」：その他，要望・意見・感想等

⑥意見の一覧・・・別紙

⑥意見の一覧

No	意見の趣旨	盛岡市の考え方	反映区分
1	<p>中都市盛岡の街づくりを見ていると、将来的にこの街をどのようにしていくのかの基本線が見えない。盛南開発などを行い、住宅街やショッピング街を新設し、一方では住人が減りさびれる地域ができる。新たな地域が増えれば、当然そこに新たな公共施設の新設が必要となり、またその維持管理に市の財源が必要となる。住民が減った地域でも子供や住人はおり、公共施設はそのまま廃止することもままならず、表題のような問題になるのである。</p> <p>結論を言えば「小さな街づくり」に徹するべきであると思われる。今ある街のRe-use, Recycle, Reformで住みよい街を作るべきであると思われる。</p> <p>古い街並みを守り、小さな街づくりに徹すべきです。</p>	<p>基本方針（案）では、新規施設の設置及び取得は原則行わないこととしており、新たなニーズに対応する場合は、既存の施設の多目的化、複合化、転用を検討することとしています。ただし、新市建設計画などの合理的な理由により新規整備が必要となる施設については、市で保有する施設総量の縮減を図りながら新たな整備需要に応じていくよう努めることとしています。</p> <p>また、市のまちづくりの基本的な方針を定めている「盛岡市都市計画マスタープラン」におきましては、賑わいと活力がある市街地をつくるために「都市圏の市街地の低密な拡大を抑制し、コンパクトな市街地を形成」と「既存の市街地の活性化を図り、効率的な土地利用」と方針に定めております。</p> <p>これは、市街地の拡散的な拡大を抑制しながら、既存市街地の優先的な土地利用により、秩序ある土地利用を図り、中心市街地などの既存市街地における整備済みの社会基盤を有効に活用した効率的な土地利用を図ることで、コンパクトな市街地形成と活性化を目指すものとなっているものです。</p> <p>その他、方針に「都市に必要な機能確保と効率性を高める」と定めており、中心市街地と盛岡駅西口地区、盛岡南新都市地区はそれぞれの地域特性を活かした機能分担により、連続的な都心形成と都市機能集積を図ることとしております。</p> <p>これらの方針に基づき、まちづくりに関する各事業は進められるとともに、必要に応じて事業の見直しなどを行うことで、コンパクトで機能的かつ持続可能な都市の形成を図って参りたいと考えております。</p>	D
2	<p>基本方針（案）に「将来を見ずえて計画的に施設を直し安全性を保ちます」と書かれていますが、バスセンターの建替えをしていただけないでしょうか。高齢化社会を迎えた現在、市全体的にバリアフリーとはほど遠く、安心安全とは言えない。</p> <p>バスセンターを核として、高齢の人も若い人も子供たちも共につどえる又は利用するような、町の活性化を計る上でも将来の町づくりモデルケースになるような新しい発想で作られても良いのではないのでしょうか。</p>	<p>バスセンターの建替えにつきましては、市としても交通ターミナル施設として重要であると考えており、第2期盛岡市中心市街地活性化計画にその再整備事業を位置づける予定としているところです。このため、所有者事業主体である(株)盛岡バスセンターとの打合せの中で、ご提案の趣旨が可能であるか検討してもらえよう働きかけてまいりますとともに、周辺地区における百貨店のオープンやマンション建設による交流人口・居住人口の増加の好材料もありますことから、さらなる活性化に努めてまいりたいと考えております。</p>	D